



# MINAKO Report

平成23年度 第4回定例会報告号

平成23年度第4回定例会は、9月6日(火)から10月6日(木)まで開催され、提出議案10件の採決および平成22年度決算の審査が行われました。この9月議会においては議長・副議長を除く20名中17名の議員が発言通告をしており、活発に質問を行いました。私の一般質問は裏面に紹介させていただきます。

## 芦屋市内に「赤ちゃんの駅」を設置

～赤ちゃんとお出かけのとき、お気軽にご利用ください～

### 「子育て支援事業」

来年4月から、市役所をはじめ公共施設や、民間施設の市内約90ヶ所(11月に公募)を目標に、無料で利用できる「赤ちゃんの駅」を設置予定です。「赤ちゃんの駅」は、乳幼児のいる保護者が外出中におむつ交換や授乳のために気軽に立ち寄れる場です。このような場を提供する「子育て支援事業」を行うことは、子育て中の家族が外出ししやすい環境づくりをすすめるとともに、地域で子育てを支える意識向上にもつながります。

### 「太陽光発電システム導入補助金」の追加

～太陽光発電システム設置要望増加に伴い予算を追加しました～

#### 40件400万円の追加予算を9月議会へ提案、可決

一般住宅向けの太陽光発電への関心が高まり、設置要望の増加による予算不足が懸念されたため、今年度当初予算(年間30件、300万円)に、40件400万の追加予算を9月議会へ提案、可決されました。太陽光発電は、究極のクリーンエネルギーで供給源も無尽蔵とされ、技術革新の進歩で世界的に導入が促進されつつあります。当市では戸建て住宅を対象に補助を実施しています。

詳しくは環境課まで TEL: 38-2050

### 「中学校の昼食を考える懇話会」が開催されました。

#### 「中学校の昼食を考える懇話会」の第1回会議(9月5日〔月〕)

懇話会の委員は、大学教授や学校教職員、小学校・中学校PTA代表、主任児童委員、公募の市民委員ら10名。懇話会では教育委員会事務局からの趣旨説明に対して昼食に関するとらえ方をそれぞれ発言。これまで「愛情弁当」を掲げてきた教育委員会も「昼食問題は白紙で臨む」と発言しており、今秋、中学生や保護者、教職員、一般市民ら計4,000名を対象にアンケートが実施される予定です。

学校給食の実施は、将来を担う子どもの発達に大きく関わる食育教育の一環でもあります。今後、市民の大きな課題として注目していきましょう。

### 9月議会で決算を認定

#### 決算委員会を傍聴しました

平成22年度の決算審査が行われ、市議会はこれを適切な予算の執行がされているとして認定しました。

昨年度は市税収入が大幅な減収となり、実質収支は黒字額4億4千95万9千円となったものの、市の預貯金に当たる基金から約14億円を取り崩しており、財源不足の状況にあります。ちなみに昨年度の歳出決算額を平成23年3月31日時点の人口で割ると、市民一人当たり464,799円になります。

今回私は、決算委員会を3日間傍聴いたしました。今後、暮らしを豊かにする政策と併せて、将来世代にツケを回さず、市民一人ひとりのために有効に使われる財政運営についても議会や一般質問で取り上げていきたいと思っております。

## 福井みな子の一般質問

本会議で行う一般質問とは各議員が市民要望を交えながら、市役所側に質問や政策提言を行う事です。私は敬老の日にあたり、高齢者がいつまでもいきいきと元気に生活を営むことができるようお願いをこめて、福祉に関する質問と学校給食の食材の安全性等について質問を行いました。

質問事項は①地域医療の取り組みについて②高齢者の肺炎球菌ワクチン助成について③介護ボランティア制度について④食の安全・食育についての4項目です。その中から②～④の3項目についてご報告します。

### \* 高齢者の肺炎球菌ワクチン助成について

【質問】厚生労働省の人口動態統計、死因別死亡数の割合によると、肺炎は死因の中でも全体の1割を占めている。特に高齢になるほど死亡原因に占める「肺炎」の割合は高くなり、その原因の50～60%が肺炎球菌によるものとされる。自治体での助成も拡大する中、既に神戸市では助成を行っているが、本市における高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用助成の今後の予定を問う。

【答弁】予防接種法に基づかない任意の予防接種であるため、国や県の補助が無く、市単独で助成する考えは無い。



インフルエンザワクチンとの併用による接種が、より効果的と報告されていることから、高齢者の肺炎球菌ワクチンの公費助成制度の導入を今後も提案してまいります。

### \* 介護ボランティア制度について

【質問】以前、定例会の一般質問でも取り上げられ、芦屋市でも導入の可能性を検討しているとの介護ボランティアの「ポイント制」導入について見解を問う。

横浜市では、お元気な高齢者が社会参加や地域貢献を通じた生きがい作りの促進などの目的のもと、特別養護老人ホームなどで「ポイント制」のボランティア活動を行う介護ボランティア制度が実施されています。そのようにしてたまったポイントは、ポイントに応じて換金や寄付ができる仕組みになっています。

【答弁】高齢者の社会参加と介護予防の観点から、現在策定中の「第6次芦屋すこやか長寿プラン21」の計画策定委員会で意見を伺う。



高齢者の健康づくりや生きがい作りなど、介護予防につながる活動へのポイント制度導入に向けて、前向きな検討を望みます。

### \* 学校給食の食材の安全について

【質問】震災以降、原発事故による食品への放射性物質の影響が依然として続くなか、学校給食の食材についてはどのような安全対策をとられているのか？

【答弁】食材の検査は出荷される前の段階で行われていることから、基本的に市場に流通している食材は安全であると判断している。今後も、最新の情報を収集しながら、安全・安心な学校給食の実施に向けて努力していく。



未来を担う子どもの安全を守るとともに、保護者の方の不安を少しでも軽減できるよう、安全の根拠を確認して、情報公開や説明ができる体制を作り、対応することを望みます。

議会を傍聴してみませんか？本会議と委員会とはどなたでも傍聴できます。  
詳しくは議会事務局まで TEL:38-2001

### ◇ 福井みな子 プロフィール

1962年 生まれ  
茨城キリスト教短期大学 英文科卒業  
東京海上火災保険株式会社 本店勤務  
日本航空株式会社 羽田空港支店勤務  
コンチネンタル航空会社 客室乗務員  
株式会社 JAL エクスプレス 客室乗務員指導  
ホスピタリティツーリズム専門学校大阪  
平成23年芦屋市議会議員初当選  
民生文教委員会委員、議会改革特別委員会委員  
浜町在住

【12月の議会予定】	
12月02日：議会運営委員会	13日：本会議（一般質問） 福井みな子登壇予定
5日：本会議 開会	14日：本会議（一般質問）
6日：都市環境常任委員会傍聴	15日：本会議予備日
7日：民生文教常任委員会	16日：委員会予備日
8日：総務常任委員会	21日：議会運営委員会
12日：議会運営委員会	22日：本会議

芦屋市議会議員（イーブンあしや）  
福井みな子 市政報告 No. 2 平成23年10月発行  
〈芦屋市議会〉芦屋市精道町7-6 TEL: (0797) 38-2001  
E-mail: minako@e-ashiya21.com  
http://www.e-ashiya21.com